

玄海防災プログラム

衣食住 ②	活動名	段ボールパーティーション作り		時間	3～4時間
ねらい		知識 思考・判断	自然災害等の現状、原因及び減災等についての理解を深め、現在及び将来に直面する災害に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意志決定や行動選択ができる。		
		危険予測 主体的な行動	地震、台風の発生等に伴う危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができる。		
	○	社会貢献 支援者の基礎	自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全生活に進んで参加・協力し、貢献できる。		
活動内容	体育館などの広いスペースに、グループで協力して段ボールパーティーションをつくり、災害時における緊急避難生活を体験する活動。				
対 象	制限なし		活動可能 人数	制限なし	
展 開 例	1 集合 ・活動10分前に集合し場所の確認、活動の進め方などを確認 ・指定された場所に集合 ・参加人員と健康状態の把握				
	2 事前指導 ・避難所生活の写真などを見せながら、活動の目的や意義を説明 ・材料やシュラフ、毛布等を搬入 ・段ボールカッター・カッターナイフやはさみの使い方の確認				
	3 製作活動 ・グループで協力して、作成する。				
	4 事後指導 ・実際に段ボールパーティーションでの体験を出し合う ・後片付け				
実施上の留意点	○段ボールはあくまでもプライベートを最小限に守るためのパーティーションということをしっかり参加者に理解させた上で活動に入る。 ○カッターナイフやはさみ等の取扱いについては細心の注意する。 ※けが及び床を傷つけないような工夫 ○気温により、毛布の貸出等を確認する。 ○活動後の段ボールの処理の仕方を事前に確認しておく。				
「玄海の家」で準備する物	シュラフ、毛布、マット 段ボールカッター 40本				
団体で準備する物	段ボール、段ボールカッター・カッター及びはさみ、布テープ、懐中電灯				

等

※事前打合せ時に準備物を要確認

等

段ボールパーティーションの作り方

- 作成時間 約1時間～2時間
- 材料 段ボール ガムテープ
- 道具 段ボールカッター（カッターナイフ代用可）

①一辺がひじから指先(40～50 cm)の正方形に段ボールを切る。

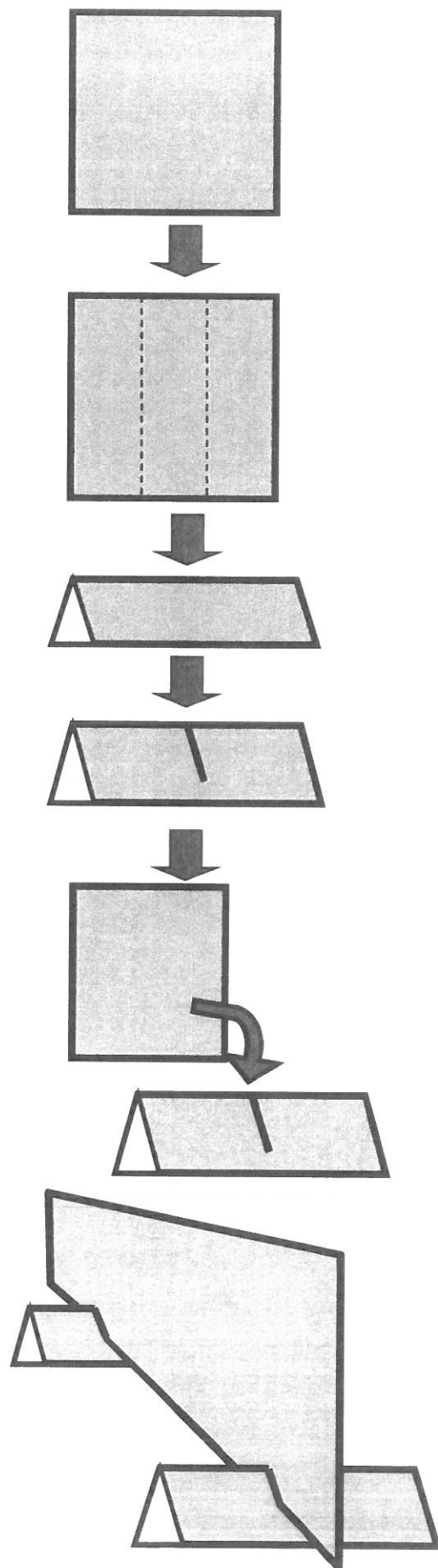
②正方形が三等分になるように段ボールカッターで軽く切れ込みをいれる。

③裏返して、切れ込みにそって三角形に折り曲げ、頂点をガムテープで止める。

④真ん中あたりを段ボールカッターで切って、段ボールがはさめるようにする。

⑤パーティーションになりそうな段ボール(背の高いもの)を挟む。

⑥同じものをもう一つ作って立てれば出来上がり。



玄海防災プログラム

衣食住 ⑥	活動名	段ボールシェルターづくり		時間	4時間＋就寝活動時間
ねらい		知識 思考・判断	自然災害等の現状、原因及び減災等についての理解を深め、現在及び将来に直面する災害に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意志決定や行動選択ができる。		
	○	危険予測 主体的な行動	地震、台風の発生等に伴う危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができる。		
		社会貢献 支援者の基礎	自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全生活に進んで参加・協力し、貢献できる。		
活動内容	災害時における防寒対策の手段の一つとして、段ボールを使った寝床（シェルター）づくりを行う。個別に作ったシェルターを使って実際に就寝することで、避難生活を想定し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができるようにする。				
対 象	小学校4年生以上		活動可能 人数	実際に就寝できるスペースに応じた人数	
展 開 例	1 事前打ち合わせ （実施する前日までに） ・進め方、作業場所、就寝場所の確認 ・段ボール、ガムテープ、段ボールカッター等の材料や道具の準備 ・使用後の段ボールシェルターの処理等の確認 （活動10分前に） ・活動の進め方、最終確認 ・参加人員と健康状態の把握 2 導入 ・震災時の避難所での共同生活の写真や気温、ライフラインの復旧状況等の資料を使って、活動の目的や意義をつかむことができるようにする ・材料やシュラフ、毛布等の搬入と配付 ・段ボールカッター、カッターナイフ等の使い方の安全指導 3 制作活動 ・グループで個別シェルターの協働作製 ・作業場所、材料、道具の片づけ 4 就寝体験 ・非常口、避難経路を確認し、シェルターの設置 5 ふりかえり活動 ・寝心地等の感想、シェルターの改善点だけでなく、同じ場所で就寝する相手や集団への心遣いやルールづくりについてのふりかえり				
実施上の留意点	○段ボールは日常の学校、家庭生活で使う大きさでも利用可能 ○9歳以下の子どもや幼児等は、保護者と共に就寝することが考えられるので、シェルターを2人分の大きさにして作製 ○段ボールカッター利用上の安全指導の徹底				
「玄海の家」で準備する物	・シュラフ、毛布、マット、段ボールカッター 40本 ※季節に応じて、貸出できる数量が変わるので、確認が必要				
団地で準備する物	・段ボール、段ボールカッター、ガムテープ（布） 懐中電灯 等				

※事前打合せ時に準備物を要確認

※事前打合せ時に準備物を要確認

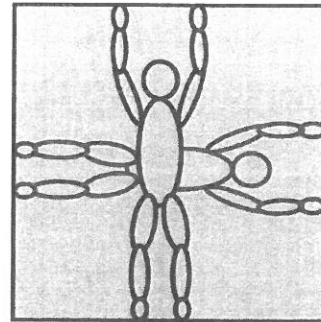
段ボールシュルターの作り方

○作成時間 約3時間

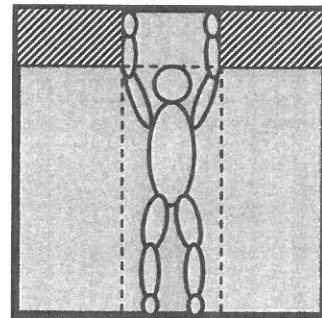
○材料 段ボール ガムテープ

○道具 段ボールカッター（カッターナイフ代用可） シュラフ、毛布等

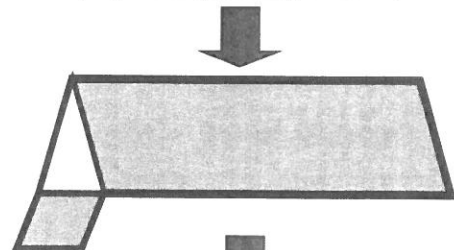
- ①段ボールを段ボールカッターで切り開く。
- ②段ボールをガムテープですき間無くつなぎ合わせ、縦と横の長さがバンザイをした長さになるようにする。



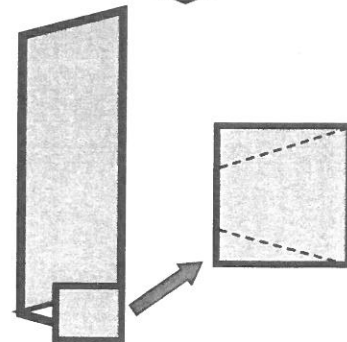
- ③步測で一辺を3等分し、段ボールカッターで軽く切れ込みを入れる。
- ④斜線の部分を切り取る。



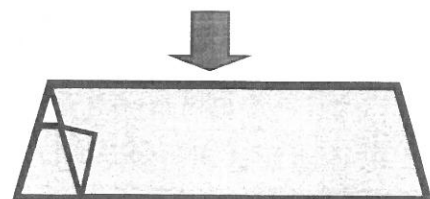
- ⑤裏返して、切れ込みにそって三角形に折り曲げ、頂点をガムテープで止める。



- ⑥ふたが下になるように段ボールを立て、形を整えたら、段ボールカッターで軽く切れ込みを入れる。



- ⑦切れ込みにそって折り曲げ、ふたをガムテープで止める。



※仕上げて細かい穴などをガムテープで埋めて保温効果を高めましょう。